

名前:

「別にインターネットがあるから、新聞は  
とらなくて大丈夫。」と父親に言われたこ  
とがあります。確かに、インターネットで様  
々なニュースが見えますが、僕にと、て興味  
がそそるニュースが少ないです。

なぜだろうか、インターネットで見ても  
なうわがあの金を払って新聞をとらなくて  
すむのに、と考えた頃があります。確か大学  
生として住む新たな住居も貝つかり、いろい  
ろと必要な生活品を集めていた頃でした。そ  
れまで実家では何の気なしに読んでいた新聞  
が、少ない生活費を削って出すべきかどうか  
考えさせられました。別に大きなニュースは  
インターネットでも見られるかなあ、と思  
い、結局とらないことにしましたが今では少  
し後悔しています。

インターネットと新聞や雑誌とは、概し  
て、個々の記事の密度が違います。インター  
ネットでは、個々のニュースの内容がとても  
少ないものが大半であり、かなり狭い視点で

しか現実の事象を見れません。あゝこれと調  
べて、やっと全体像がつかめるようになるこ  
とが少なくないです。一方、新聞や雑誌では、  
インターネットよりも、スペース等の関係上  
文字数が多くなり、必然的に内容が豊富にな  
ります。また、全体的な印象として、同じ会  
社でも、新聞や雑誌の方がインターネットよ  
りも文がしっかりしているように思います。

以上のインターネットの欠点はいずれ改善  
されていくと思います。しかし、それでもま  
だ新聞や雑誌は必要です。安定性と流布性、  
閲覧性の問題があります。デジタルで保存さ  
れているものは簡単に書き換えられてしま  
うし、また機械は必ず壊れてしまうものです。  
さらに、皆が皆パソコンを使える環境にある  
わけではありません。パソコンは今だに高価  
なものです。さらに加えると、一度に多くの  
記事が見えない上に、記事を読むためにペー  
ジをジャンプする等、時間がかかってしま  
います。